

北総線の高運賃問題を問う

総選挙 千葉13区の立候補予定者に

国会が突然解散され、10月22日（日）投票で衆議院議員選挙が行われます。私たち北実会は、9月25日現在、千葉13区（印西・白井・鎌ヶ谷・船橋の一部などの地域）で衆院議員選挙出馬に向けて活動している3人の立候補予定者に、国会議員として北総線運賃値下げのために、どのように取り組んでくださるかを文書で聞きました。回答の期日（9月30日厳守）までに届いた文書回答をそのまま紹介します。（掲載順は回答到着順）

Q1 北総線の高運賃問題について、どのようなご認識ですか。これに関し、あなたがこれまでに行われた取り組みがあればお書きください。（200字以内）

Q2 今回の選挙で当選されたら、国会において北総線運賃値下げのために、北総線のどのような問題を、どのように取り上げて下さいますか。（300字以内）

日本共産党

さいとう 和子

●北総線問題の認識

北総線の運賃は近隣の主要鉄道と比べ同距離で約2倍もの異常な高額です。親会社の京成電鉄は北総線の利用で大きな利益を上げているにも関わらず、北総鉄道＝利用者に対して不当な負担を強いています。日本共産党はかねてからこの問題を重視しており、2010年に穀田議員が質問主意書で追及したのに続き、私も昨年12月、安倍内閣に対して質問主意書を提出、千葉ニュータウン鉄道の線路使用料問題を解明して、運賃値下げを迫りました。

●当選後の取り組み

北総鉄道に50%出資する京成電鉄は、その優越的地位を濫用して不公正な線路使用料契約を押し付けており、これが高運賃の原因の一つとなっています。国はこの不合理な契約を京成電鉄の言うままに認可しており責任は重大です。私は自公政権に対する質問主意書でこの点を質しましたが、「鉄道事業者同士の契約だから適正だ」と大手鉄道会社の利益を優先するばかりで、高い運賃で苦しめられている住民の利益を顧みる姿勢はありませんでした。何としても当選して、まずは不公正な線路使用料契約の是正を行政に働きかけ、どんなに不合理な内容でも「民・民契約」は認可するという公共の利益擁護を忘れた鉄道行政を改めるよう力を尽くします。

北総線の高運賃問題を問う

総選挙 千葉13区の立候補予定者に

民進党 みやかかわ 伸

●北総線問題の認識

書籍「できるだけ乗らずに済ます北総線」や北実会のチラシなど読ませて頂いております。小生や家族も北総線を使っているのですが、その運賃の高さは実感しています。今までに北総線運賃問題の講演会に参加したり、国交省に問い合わせしたりしました。また、街が活性化して北総線の利用が増えれば、運賃値下げの可能性が高まるので、街の活性化のためにイベント企画や実行委員など行いました。

●当選後の取り組み

まず、北総地域が更に魅力ある場所となるように努力し、若い人が住みたいと思う、また、外国人観光客が寄ってみたいと思う、そのような街づくりを目指します。また、北千葉道路をはじめとしたインフラ整備に取り組み、街を活性化し、今後も人口増加が続くことを目指します。この他、千葉ニュータウン鉄道や北総鉄道の累積赤字が減っていく中で、住民の強い要望である運賃値下げが実現できないか努力します。

所属政党名は9月30日現在です。

自民党・しらすか貴樹氏には9月25日、当会の代表が同氏の印西事務所を訪れ、地元秘書氏に質問書を手渡しして回答を要請したのに加え、同日メールでも質問書を送付しました。

その後、9月30日の回答期限が迫っても回答がないため、9月29日、30日と続けてメールで再三要請しましたが、これらの当会の働きかけには一切の返答がなく、結局、回答も頂けませんでした。

千葉13区の沿線住民の悲願である北総線運賃値下げ問題について、候補者としての見解、政策を示していただけなかったことについて、当会として極めて遺憾である旨を表明します。

北総線の運賃値下げを実現する会